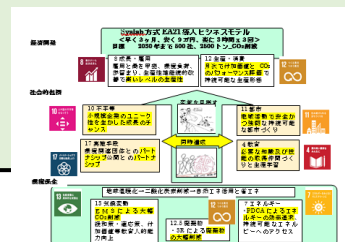


# + 商品開発、ビジネスモデルの開発にSDGsを使う

- まず、ものの見方を変える、「あるべき姿」から考える  
目的→あるべき姿→解決策→調査・分析→システム化、...
- 調査・分析の例（なぜ、EA21 認証件数は増えない？）
- 課題（リスク）とチャンス（機会）からシステム化  
EA21 導入支援ビジネスモデルの開発の例
- SDGsで様々な課題の同時解決を目指すモデルの例

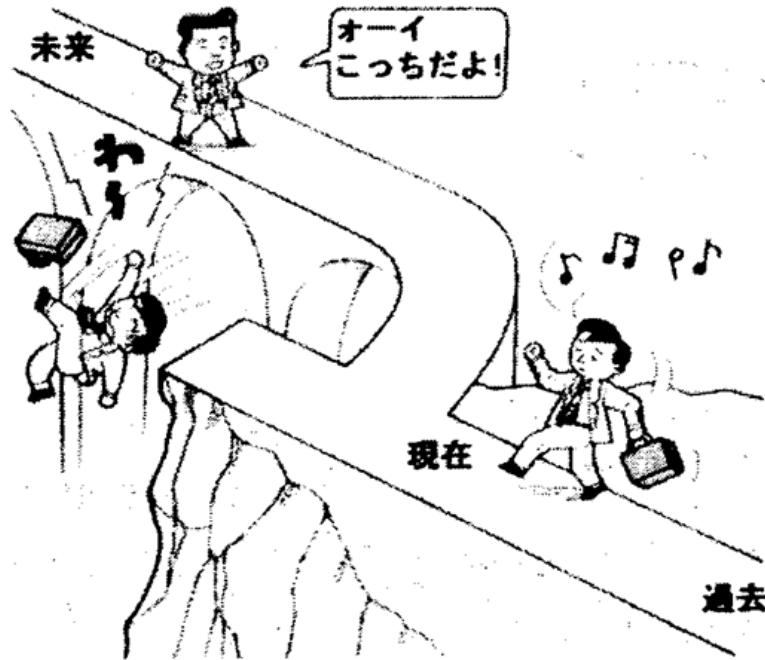


企業を元気にする  
シスラボ・スエヒロ



# Syslab 方式 EA21 導入ビジネスモデル 過去の延長線上に未来はない 予測はできないが、デザイン (あるべき姿) はできる

目的：継続的 CO2 削減システム

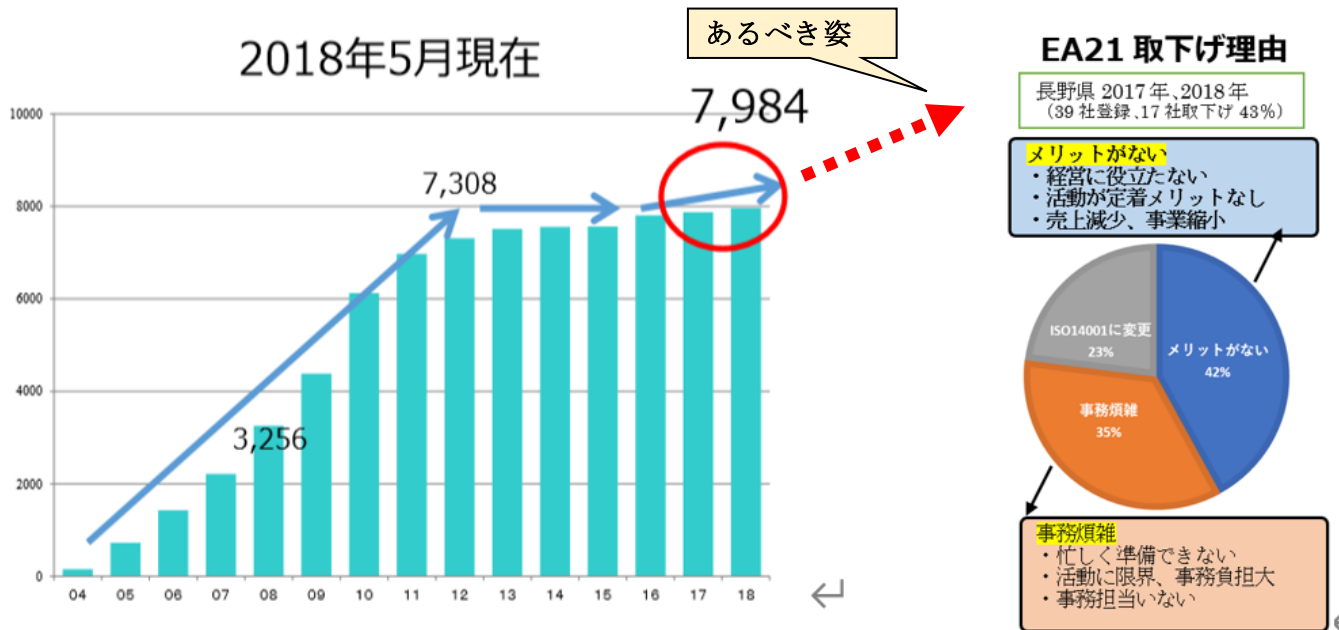


- 「変革」のアプローチ
- 目的の確認 (いつ、どこ、だれ)
    - ↳ 2030年、小規模企業、社員
  - あるべき姿を決める
    - ↳ 継続的 250ト/年 CO2削減
  - 解決策
    - ↳ 早く、安く、楽に EA21 導入
  - 調査、分析
    - ↳ 「よい会社」を作る
  - システム化
    - ↳ 継続的に「一人ひとり稼ぐ組織」
  - 実施
    - ↳ 5社/2019年、50社/年目指す
  - 確認
    - ↳ HPで公表

←  
出所 ブレイクスルー戦略 日々野省三著

## (解決策 : EA21 導入) (調査・分析 : EA21 の登録件数が伸びない)

- ・ ISO9001、ISO14001 と同じように十年くらい登録が急増するが以後伸びない
- ・ 経営に役立たない (メリットがない)、事務に手間がかかるという理由で取り下げる



## ② 課題（リスク）とチャンス（機会）から経営計画（戦略）を考える

（内部環境分析）シスラボ・スエヒロの内部・外部からの強みと弱み分析

	企業内部から見る	企業外部から見る
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略会計（管理会計）の経験多い</li> <li>・ファシリテーションによる現場改善経験豊富</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50名以下に特化した統合 ISO ノウハウ</li> <li>・</li> </ul>
弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人であること（限られたマンパワー）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人ゆえの信用力が弱い</li> <li>・</li> </ul>
戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「外部の強みと内部の強み」と「内部の弱みを改善し外部の強み」を生かす。</li> <li>ゴールは高い目標を設定するためにSDGsを参照する</li> </ul>	

大幅なCO2削減する戦略

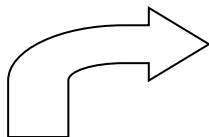
（外部環境分析・市場の分析）

製造業の30名以下小規模企業の強み弱み分析（共通）

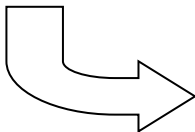


	企業内部から見る	企業外部から見る
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特化した技能や技術がある</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特化した市場を持っている</li> <li>・量はこなせないが小回りが利く</li> </ul>
弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営資源（人、時間、資金）が脆弱</li> <li>・経営計画があいまい、一方的仕事の指示</li> <li>・職場リーダー（マネジャー）が育たない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・儲からない（付加価値が低い）</li> <li>・顧客へ安心と信頼の発信力が弱い</li> </ul>

## ① (システム化) EA21 導入支援ビジネスモデル開発



- ・早く (3ヶ月)、安く (9万円)、楽に (3時間x3回)、すぐには役に立たない、まず、「型」をつくり、スパイラルアップで成長させる
- ・EA21 取得が目的でなく、「よい会社」つくること  
「よい会社」とは、①利益を出せる会社、②この会社でよかつと感じる (信頼と誇り)
- ・自立的に行動できる「一人ひとり稼ぐ組織」を目指す



- ・利益(付加価値)管理と EA21(PDCA 構造)のセット
- ・毎月、14~17 のデータで付加価値と CO<sub>2</sub>が見える、期末の計画対実績の予測が見える
- ・社員に利益構造を教え、経営層と社員の協働作業を

# ①SDGs で様々な課題の同時解決を目指 (「利益」と「EMS」の両立性 本来業務と統合)

経済開発

Syslab 方式 EA21 導入ビジネスモデル  
 <早く3ヶ月、安く9万円、楽に3時間 x 3回>  
 目標 2030年まで500社、2500トン\_CO2削減



8 成長・雇用  
 雇用と働き甲斐、環境負荷、歩留まり、生産性雄継続的改善で高いレベルの生産性

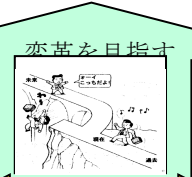
12 生産・消費  
 月次で付加価値とCO2のパフォーマンス評価で持続可能な生産形態



社会的包摂



10 不平等  
 小規模企業のユニーク性を生かした成長のチャンス



11 都市  
 地域活動で安全かつ強靱な持続可能な都市づくり



17 実施手段  
 環境関連団体とのパートナーシップ  
 パートナリシップで目標を達成しよう



4 教育  
 必要な知識及び技能の取得仲間づくりと生涯学習



環境保全



地球温暖化→二酸化炭素削減→自然エネ活用と省エネ

13 気候変動  
 EMSによる大幅CO2削減  
 緩和策・適応策、付加価値等教育人的能力向上



12.5 廃棄物  
 ・3Rによる廃棄物の大幅削減

7 エネルギー  
 ・PDCAによるエネルギーの効率追求、持続可能なエネルギーへのアクセス

